

# 広島市歯科医師会だより



# 8 月号

一般社団法人広島市歯科医師会

Hir o s h i m a C i t y D e n t a l A s s o c i a t i o n

No. 148 (R1. 8. 20)

## 目次

### 今月のトピックス

一般社団法人広島市歯科医師会 新役員紹介	1 ページ
関連組織職務一覧	2 ページ
役員自己紹介	3 ページ
新コラム『柔しく剛く』	4 ページ

### 行事報告

平成 31 年度 第 2 回 四者協議会	5 ページ
令和元年度 広島市歯科医師会健康ソフトボール大会連絡協議会	5 ページ
全国歯科大学同窓会広島県支部長会併設文月会	6 ページ
各部総合委員会	6 ページ
広島市学校保健会 平成 31 年度 第 2 回 理事会・表彰審査委員会	7 ページ
広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議	8 ページ
令和元年度 広島県歯科医師会 第 1 回 保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議	9 ページ

### 支部だより

中区支部	10 ページ
東区支部	12 ページ
南区支部	13 ページ

### 各部からの報告

広報部	14 ページ
FM ちゅーピー	17 ページ
7 月定例理事会報告	17 ページ

**連載コラム『柔しく剛く』スタート！**

# 一般社団法人広島市歯科医師会 新役員紹介

任期：令和元年6月29日～令和3年6月末



会 長  
熊谷 宏



副 会 長  
瓜生 賢



専務理事  
能美 和基



理 事  
森本 慎樹  
(総務部)



理 事  
花岡 宏一  
(学術部)



理 事  
谷 徹範  
(厚生部)



理 事  
有馬 隆  
(地域歯科保健部学校保健)



理 事  
若林 大輔  
(地域歯科保健部地域保健)



理 事  
藤田 友昭  
(地域歯科保健部地域連携)



理 事  
水内 裕之  
(広報部)

監 事  
監 事  
外部監事  
顧 問

歌野原 実  
椿田 直也  
篠原 敦子  
澤田 建彦

顧 問  
顧 問  
顧 問  
顧問弁護士

森本 克廣  
土江 健也  
川原 正照  
加藤 寛

# 関連組織職務一覧

## 広島県歯科医師国民健康保険組合会議員

任期：令和元年7月1日～令和3年6月末

	会議員	備考
1	能美 和基	本会役員
2	水内 裕之	〃
3	有馬 隆	〃
4	波田 佳範	中区支部長
5	野村登志夫	東区支部長
6	古谷 知之	南区支部長
7	角田 達彦	西区支部長

## 県歯連盟評議員

任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日

評議員	予備評議員	備考
平尾 慶太	植木 貴宏	執行部
岡野 聡	伊藤 剛志	〃
天間 裕文	谷 巖範	〃
木村 太言	寺迫 環	〃
波田 佳範	石嶋 誠司	中区支部
香川 次郎	前田 羊一	〃
野村登志夫	宮村 健一	東区支部
竹本 美保	前島真紀子	〃
古谷 知之	玉川 幸二	南区支部
橋本 直典	吉武 政博	〃
角田 達彦	田中 信吾	西区支部
竹田 芳弘	小林 裕子	〃

## 広島市歯科医師会救急蘇生委員会

任期：令和元年6月29日～令和3年6月末

委員	備考
熊谷 宏	会長
瓜生 賢	副会長
能美 和基	専務理事
花岡 宏一	理事

## 広島県歯科衛生連絡協議会

任期：平成31年(2019)4月1日～令和3年3月末

理事	備考
熊谷 宏	広島市歯科医療福祉対策協議会会長

## 広島県歯科医師協同組合総代

任期：平成31年(2019)4月1日～令和3年3月末

	総代	備考		総代	備考
1	石田 栄作	県歯役員	15	谷 巖範	本会役員
2	林 優美	〃	16	若林 大輔	〃
3	山崎 健次	〃	17	森本 慎樹	〃
4	森本 進	〃	18	花岡 宏一	〃
5	上川 克己	〃	19	藤田 友昭	〃
6	久保 康治	〃	20	歌野原 実	〃
7	上田 裕次	〃	21	椿田 直也	〃
8	天間 裕文	〃	22	波田 佳範	中区支部長
9	本山 智得	〃	23	野村登志夫	東区支部長
10	熊谷 宏	本会役員	24	古谷 知之	南区支部長
11	瓜生 賢	〃	25	角田 達彦	西区支部長
12	能美 和基	〃	26	香川 次郎	中区副支部長
13	水内 裕之	〃	27	竹田 芳弘	西区副支部長
14	有馬 隆	〃			

## 広島市歯科医療福祉対策協議会

任期：平成31年(2019)4月1日～令和3年3月末

役員	備考	役員	備考
熊谷 宏	会 長	谷 徹範	理 事
瓜生 賢	副 会 長	前田 羊一	地域歯科保健部委員長
能美 和基	専務理事	中川 誠	〃 副委員長
若林 大輔	理 事	森川 英彦	〃 副委員長
藤田 友昭	〃		
森本 慎樹	〃		
有馬 隆	〃		
水内 裕之	〃		
椿田 直也	監 事		

## 広島市歯科衛生連絡協議会

任期：平成31年(2019)4月1日～令和3年3月末

役員	備考	幹事	備考
熊谷 宏	会 長	若林 大輔	理 事
瓜生 賢	副 会 長	有馬 隆	〃
能美 和基	専務理事		
歌野原 実	監 事		

今月より連載開始です！！

## 役員自己紹介

### 瓜生賢副会長

この度、本会副会長を拝命致しました中区の瓜生でございます。これまで情報管理部、保険医療対策部にて理事を務めまして、今期で執行部は7期目となります。もとより浅学非才の身でございますが、粉骨砕身、倍年の努力をもって会務執行にあたる所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

とまあ堅苦しいご挨拶はこの辺にさせて頂き、広報部より「己の人と成りを語れ」との依頼でございますのでここからはざっくばらんに筆を走らせてまいりたいと思います。

私は昭和42年2月、広島市中区昭和町にて生を受け、その後は東区戸坂にて育ちました。良く言えば何にでも興味を示す、一般的に言えば注意力散漫な子供でございました。中学高校時代は柔道部と写真部に籍を置き、大学時代はスクーバダイビング同好会に所属して、長期休暇はずっと沖縄の海に沈んでおりました。

平成5年に広島大学を卒業後は当時の広島大学歯学部歯科保存学第一講座にてゴルフに勤しみ、平成13年に父の診療所を引き継いだ後は食べ歩きとツーリングに精を出す毎日です。ひとり息子も高校生になり、すっかり手が離れましたので毎週末ゴルフかツーリングにでも行きたいところですが、なかなか丸一日自由になる日もなく、休みの日は家でゴロゴロしながら県歯保険部の常任委員らしく青本を読んでいます(笑)

今後は熊谷会長のもと、これまで以上に会員の先生方に寄り添い、且つ広島市民に信頼される広島市歯科医師会にしていきたいと考えているところです。最後に会員の先生方にこれまで以上の会務執行へのご協力を切にお願いし、筆を置きたいと思っております。長文乱筆、失礼致しました。



会長に就任して、1か月と少しが経ちました。次々に入ってくる諸会議の予定に面食らいながらも、執行部、そして事務局の皆さんのご協力の元、なんとか順調に会務執行を滑り出すことができています。改めて、御礼申し上げます。

さて、今月号より「柔しく剛く」と題したコラムを始めます。ここでは、私が会長として考えている事、会員の先生方にお伝えしたい事などを書かせていただきたいと思ひます。

私事になりますが、平成19年4月、森本克廣先生の広島市歯科医師会会長就任に際し、小松昭紀執行部における情報管理部理事から配置転換となり、総務部理事を拝命しました。これまで総務部は専務理事が担当されており、総務部単独の理事はおかれていませんでした。森本会長は、来る公益法人改革への対応を始め、会の組織改革を進める上で総務部門充実が必要と考えられ総務部専任の理事を設置されたものと理解しています。

当時私が担当者としてまず考えたことは、公益法人改革を始めとするこれからの組織改革は、広島市歯科医師会の長い歴史にとって極めて重要な節目であり、一部役員のおみや考え方で進めるのではなく、「会員の叡智を集め

て」会員総意のもとで行われるべきだということです。そして、そのためには「会員の先生方への徹底した情報提供」が必要だと思ひました。

これまで本会の広報誌としては、「太田川」がありました。太田川は、平成9年9月15日、澤田建彦会長時代に創

刊されたもので、当初は年3回の発行でしたが、現在では年間誌となっています。1年間の会の活動記録を整理し、記録するという意味で非常に意義有るものです。

一方、対内広報という観点でアップデートな情報を提供する目的を鑑みると、月刊の広報媒体の発行が必要だと考えました。政令指定都市歯科医師会を見ても、多くの歯科医師会で印刷会社によりきちんと印刷製本された月刊の会誌が発行されており、県内に於いては福山市歯科医師会も製本された会誌を季刊で発行されています。

そこで私が、森本会長に「広報部との協力のもと、手作りのガラ版刷りでよいので月刊の会報を作らせて欲しい。」とお願いして始まったのが、「広島市歯科医師会だより」でした。創刊号(H19.5.7)において、森本会長は

## 会長コラム

# 柔しく剛く

広島市歯科医師会だより  
への想ひ

熊谷 宏

「発行にあたり」の中で、「執行部は、総力をあげて良質で公平な歯科医療環境の構築に向け努力する責務を負うのに対し、会員は機関決定の場に参画し意思疎通を図ると共に、賛同された事項について責任が伴うという認識が、組織運営のエネルギーとなるのではないのでしょうか。」と述べられています。まさに広島市歯科医師会だよりの意義はそこにあると考えます。

この度、広島市歯科医師会だよりが、会員の先生方にとって読みやすく・親しみやすいものとなるよう、水内理事を中心とした広報部が一丸となって創意工夫してくれています。会員の皆様には、だよりをお読み頂き、ご意見ご感想をどしどしとお寄せ頂ければ幸いです。

# 行事報告

## 平成31年度 第2回 四者協議会

日時：7月3日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

8月1日(木)開催予定の第61回広島市学校保健大会併催の「よい歯の集い」におけるよい歯の学校・児童表彰者選考のため、広島市歯科医師会、広島市教育委員会代

表、広島市立小学校長会代表、広島市小学校教育研究会健康教育部会代表で構成する標記の会を開催し、以下のように表彰児童及び表彰校を決定した。

### 1. 児童表彰の部

#### (1) よい歯の健康大賞

総数4,555名(内広島市歯科医師会としては1,924名)を認定

#### (2) よい歯の賞

総数3,199名(内広島市歯科医師会としては1,471名)を認定

### 2. 学校表彰の部

優秀校	<u>中島小学校(津田祐一先生)</u>	特別支援学校(上田裕次先生)
	亀山南小学校	落合東小学校
	古市小学校	五日市南小学校
優良校	<u>似島小学校(石川 潔先生)</u>	飯室小学校
	可部小学校	湯来西小学校
	五月が丘小学校	
努力校	<u>吉島小学校(波田佳範先生)</u>	<u>山田小学校(北本純司先生)</u>
	<u>高須小学校(今田和秀先生)</u>	八木小学校
	三田小学校	毘沙門台小学校
	伴南小学校	原小学校
	梅林小学校	矢野小学校

(下線は本会からの表彰校)

## 令和元年度 広島市歯科医師会 健康ソフトボール大会連絡協議会

日時：7月5日(金)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

波田佳範中支部長による議事進行の下、標記の会が開催された。

7月～10月の四支部合同の練習日、佐伯歯会との合同練習ならびに練習試合が組み込まれることの確認や、

それぞれの支部の練習主管日の振り分けが行われた。また大会当日の緊急時における連絡先、連絡網の確認、バス利用者に対する集合場所、集合時間は昨年同様であることを確認した。



その他の案件として、練習時の負傷した際の保険などを確認した。

なおこの会議には、中区支部より波田佳範支部長、香川次郎副支部長、花木清隆氏、南区支部より岡野聡氏、橋岡優氏、東区支部より野村登志夫支部長、藤範恭弘氏、西区支部より小玉基史氏が出務した。

なお、本年の合同練習の日程は右記のとおりである。

( ) は主管支部

7月 13日 (土)	南千田グランド (中区)
8月 31日 (土)	南千田グランド (南区)
9月 7日 (土)	南千田グランド (中区)
9月 14日 (土)	南千田グランド (西区)
9月 21日 (土)	南千田グランド (南区)
9月 28日 (土)	廿日市市昭北グランド
10月 5日 (土)	南千田グランド (東区)
10月 12日 (土)	廿日市市昭北グランド

## 全国歯科大学同窓会広島県支部長会併設文月会

日時：7月6日(土)午後7時

場所：ANA クラウンプラザホテル広島

ANA クラウンプラザホテル広島にて恒例の「全国歯科大学広島県支部長会併設文月会」が長崎大学・鹿児島大学の2校の当番校のお世話で開催され、本会から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が来賓として招待され出席した。本会三役の他、県歯会三役、参議院議員宮沢洋一氏、県歯連盟常任顧問林正夫氏らも来賓として参加された。

各同窓会の融和と懇親を目的に昭和54年より続いている歴史ある会だけに、大変和やかな雰囲気の中会は進行し、参加者それぞれに親交を温めあった。

また、途中溝手頭正参議院議員候補者がお越しになり、ご挨拶をされる一幕もあった。最後に来年の当番校である、奥羽大学・昭和大学・北海道医療大学の代表者より挨拶があり、閉会となった。この度のご招待

に心より感謝申し上げ、また来年からもこの歴史と意義ある会が継続していくことを祈念するものである。



挨拶をする熊谷宏本会会長

## 各部総合委員会

日時：7月9日(火)午後7時30分

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

新たな体制となった本会の各部総合委員会が開催された。能美和基専務理事による開会の辞に引き続き、「歯科医師会は歯科医師全体の職域代表であるべきで、このためには若い力、女性の力が必要であり、これか

らは法令遵守、オートノミーを発揮できる組織にしていきたい。柔しく剛い広島市歯科医師会を目指して若いみなさんの力を発揮してほしい。」と熊谷宏会長の挨拶の後、各部委員への委嘱状が委員代表して山田英太

郎広報部委員に交付された。今後の会務運営について説明の後、各部委員が紹介された。各部に別れての協議の後、瓜生賢副会長の閉会の辞で委員会は終了、そ

の後、懇親会が有馬隆地域歯科保健部理事の乾杯の音頭のもと行われ、盛会の中、水内裕之広報部理事が閉会の辞を述べ、散会となった。



委員会の様子(左上 右上)  
熊谷宏会長挨拶の様子(左下)  
熊谷宏会長より山田英太郎広報部委員に委嘱状が手渡された(右下)

## 広島市学校保健会 平成31年度 第2回 理事会・表彰審査委員会

日時：7月12日(金)午後7時15分

場所：広島市役所2階「講堂」

標記の会が開催され、8月1日(木)に開催される広島市学校保健大会についての協議、同大会で行われる広島市学校保健功労者表彰・学校保健推進学校表彰、永年勤

務の感謝状授与等の決定等が行われた。  
本年度の本会会員からの受賞は以下の通り。

### 広島市学校保健功労者表彰

矢賀小学校	片内 恒平 先生	中山小学校	木村 太言 先生
三篠小学校	松原 博久 先生	庚午中学校	三浦 留貴 先生
矢賀幼稚園	宮地 謙 先生	竹屋小学校	森田 行雄 先生

### 永年勤務の学校歯科医に対する感謝状授与

宇品東小学校 鍋島 耕二 先生



## 広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議

日時：7月18日(木)午後2時

場所：広島市児童総合相談センター5階「ホール」

標記の会は児童福祉法の規定に基づき、福祉、保健、医療、教育などの関係機関代表者が、要保護児童、要支援児童及びその保護者、特定妊婦等に関する情報の交換や支援の内容を協議する法定協議会である。

会議では要保護児童対策地域協議会の運営状況、関係機関における取組状況等の報告がなされ、児童相談所よると、令和元年度第1回実務者会議時点での要保護児童数は985名(前年度比-86名)、平成30年度の通案件数は2,195件(同+676件)とのことであった(表、図)。意見交換の際に本会から出席した有馬隆理事(学

校保健担当)は、昨年度、広島県歯科医師会等が主催した日本子ども虐待防止歯科研究会第3回学術大会や学校における健康診断情報の活用等について言及した。

歯科医師は虐待の疑いがある子どもを発見した場合、「躊躇することなく速やかに福祉事務所、または児童相談所に通告する」ことが義務付けられており、これに関連して「通告した者には虐待の立証責任はなく、守秘義務違反に問われることもない」。地域の一員としての「義務」を積極的に果たしていく必要があるであろう。

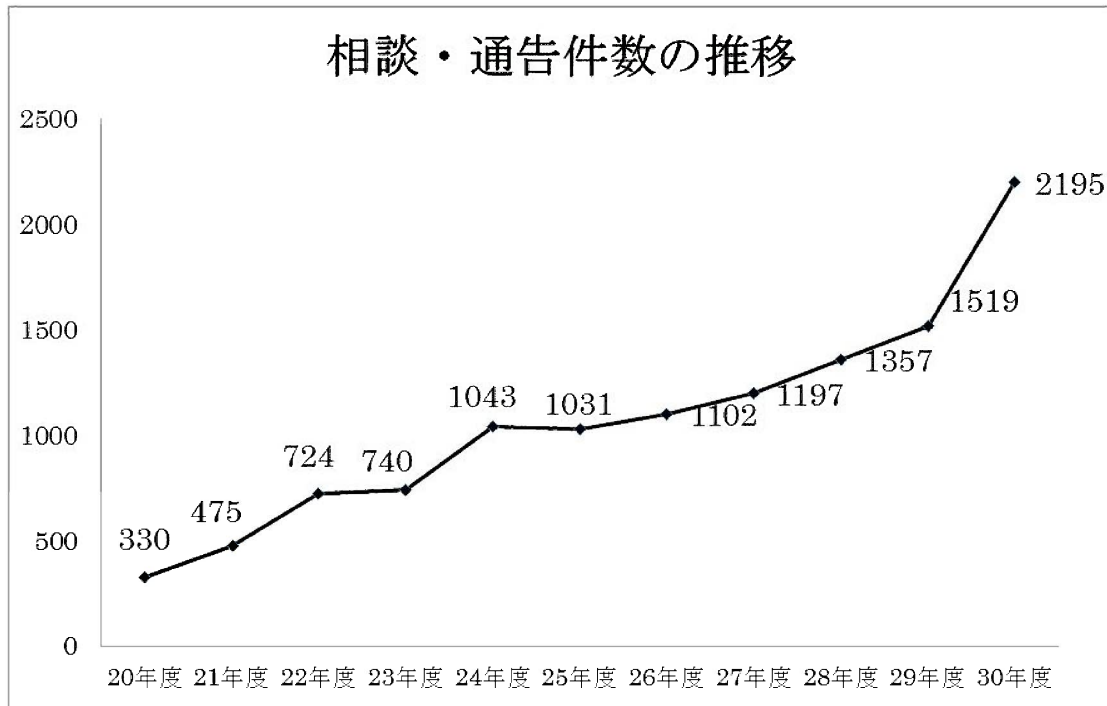
### 要保護児童数

ケース種別

被虐待	養護	非行	その他	合計
672	233	10	70	985

年齢内訳

就学前	小学校	中学校	高校以上	合計
460	344	129	52	985



## 令和元年度 広島県歯科医師会

### 第1回 保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議

日時：7月18日(木)午後7時30分

場所：県歯会館5階「503会議室」

近年、保育施設に子どもを預けて就業する保護者の割合が増えており、政府が主導する「幼児教育の無償化」や「働き方改革」等の進展により、今後、その傾向が強まるものと予想されている。また、6歳未満の子どもの歯・口の健康管理がその後の健康に大きな影響を及ぼすことなどから、この時期は生涯の健康づくりの基礎となる重要な時期と言える。従って、保育施設における歯科保健の向上が今後一層重要な課題となってくるが、保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動に係る資料の未整備により、広島県内の保育園は園児の口腔の健康状態や自らの歯科保健活動の水準を相対的に評価することが困難である。そこで、各保育園の担当者や園医等が自園の歯

科保健水準の評価や歯科保健計画の策定を行う際に有用な資料の作成を目的として、昨年度、広島県歯科衛生連絡協議会に本会議が組織され、調査方法の確立及び県内保育施設への調査票の配布と回収を行った。本年度は広島県歯科医師会学校保健部の事業として、回収した調査票の集計・分析及び報告書等の作成を行うことにしており、その第1回会議に本会地域歯科保健部から有馬隆理事(学校保健担当)らが出席した。上田裕次県歯会理事の挨拶で開会し、データ分析の進捗について各委員が報告した後、今後の報告書作成の方針及び事業の工程等について協議した。最後に細原賢一オブザーバー(前県歯理事)の挨拶で閉会した。

委員長	有馬 隆	広島市歯科医師会理事(学校保健担当、広島県歯科医師会学校保健部委員長)
副委員長	加藤正昭	前広島市歯科医師会地域歯科保健部副委員長
委員	内藤真理子	広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学教授
委員	橋本泰之	広島県健康福祉局安心保育推進課主査
委員	増田美紀	広島県保育連盟連合会事務局
委員	川西千奈美	広島市子ども未来局保育指導課主査
委員	紀本恵美	社会福祉法人三篠会白木いづみこども園 園長
委員	上田裕次	広島県歯科医師会理事(学校保健担当)
委員	濱岡代枝	広島市歯科医師会地域歯科保健部副委員長
委員	森川英彦	広島市歯科医師会地域歯科保健部副委員長
オブザーバー	細原賢一	前広島県歯科医師会理事(学校保健担当)



会議の様子

# 支部だより

## 中区支部

### 第12回吉島圏域多職種連携会議

日時：7月12日(金)午後6時30分

場所：広島市文化交流会館3階「銀河」

森内芳恵中区健康長寿課専門員による司会進行の下、田丸卓弥吉島圏域在宅医療推進リーダー医より趣旨説明がなされた後、講師に、「特別養護老人ホームひうな荘」森山由香リハビリ部長を迎え、「優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード」という演題で講演が行われた。

この「ユマニチュード」は約40年前にフランス人の二人の体育教師により開発され、近年テレビなどで取り上げられたこともあり、認知症患者のケア技術として、注目を集めている。今回は主に総論的な内容ではあったが、なかなか密度が濃いものでありその一端を理解するだけでも時間が少なすぎたように思えたが、実際は小児や障害者ケアなどにも対応できる技術でもある。

今回は、講習会のみであったが、次回11月30日の吉島圏域多職種連携会議では、相互実習が行われるということで、出務した会員並びにスタッフにとっては興味の尽きぬところである。

宮城昌治中区厚生部医務監健康長寿課長の総括で会議は終了した。

なおこの会議には、中区支部より波田佳範支部長、荒谷恭史氏(スタッフ同伴)、加藤千季氏、小島将督氏、小松大造氏、辰本将哉氏、前田羊一氏(スタッフ同伴)、の7名が出務した。



吉島圏域多職種連携会議の出席者

## 第 22 回在宅医療・介護保険研修会

日時：7月19日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル5階「大会議室」

小西太中区医師会理事の司会進行の下、正岡亨会長の開会挨拶の後、講師に瀬良聡広島市立広島市民病院救急科副部長を迎え「在宅医療と救急医療の連携～救急医の視点から～」という演題で、講演が行われた。その中で在宅医療と救急医療の関係が挙げられ、在宅時の患者の急変、感染症などに救急医療がどのようにかかわり、対応していったかが述べられた。また患者と患者家族の意思疎通がなされていないことによるトラブルや、医療の疲弊や人材確保の困難など、多岐にわたる日本の救急医療現場の問題点があぶり出された。

いくつかの症例報告が出された後、そこから見えてきたことは、高齢者の医療は病変が見つかっていても簡単には治療

に結びつかないということであった。これからの在宅医療と救急医療にとって大事な要素はクローズドループコミュニケーション、明確なメッセージ、情報の共有化などを含むチーム医療であると結びつけられ、

それに必要なものは多職種との連携であり、ACPの普及などが挙げられた。

非常に奥行きのある講演内容で、今後我々も医科歯科連携を進めていく上で、意義のある講演であった。

なおこの研修会には、中区支部より波田佳範支部長、加藤千季氏、小松大造氏、柳井俊二氏が参加した。



研修会の様子



## 令和元年度広島市歯科医師会中区支部懇親会

日時：7月20日(土)午後6時

場所：オリエンタルホテル広島1階「ニューヨークカフェ」

前田羊一理事の司会進行の下、波田佳範中区支部長による挨拶の後、熊谷宏本会会長による来賓挨拶が行われた。折しも、翌日が参議院選挙投票日であったこともあり、両氏ともに「選挙に足を運ぶように」とお願いがあった。

過去に本会で専務理事を務められた、大西定氏の乾杯の音頭で宴が始まり、今年もとりいあやか氏(ゲスト出演)によるピアノ演奏、弾き語りで会場の雰囲気は大いに盛り上がった。

引き続き、新入会員の紹介として波田支部長から石田一輝氏、小野裕記氏の2名が紹介された。自己紹介およびこれからの抱負等を聞くと、懇親会の参加者全員がこれからの歯科医師会を支えていてもらいたいと思うほどのものだった。

その後小島将督氏の司会進行による恒例のビンゴ大会は大いに盛り上がった。

宴もたけなわの中、石嶋誠司監事の閉会の辞でお開きとなった。



懇親会に出席した中区支部会員

---

## 東区支部

---

### 令和元年度 第1回 戸坂圏域医療と介護の多職種連携会議

日時：7月4日(木)午後7時

場所：戸坂公民館3階「大集会室」

標記の会が東区医師会と広島市戸坂地域包括支援センターの主催で開催された。久保美穂子センター長および草

野富美子東区厚生部地域支えあい課・地域支援担当課課長の挨拶で始まり、竹本奈穂子太田川病院地域医療連携室職



員より、地域包括ケア病棟での退院支援についての事例発表があった。その後、「みんなで語ろう退院支援！」と題したグループディスカッションが行われた。「入院に際しての相談や紹介元の医療機関との連携などの入院前の支援から医療福祉相談を含めた退院支援が切れ目なく円滑に行えるようにするにはどのような点に注意する必要があるのか」についての検討がなされた。一度退院してもその後再度入院を余儀なくされるケースもあることから、医療関係者、介護関係者、行政などの多職種がそれぞれの立場から意見交換を行い、大変有意義な話し合いとなった。続いて、小塚智美東区厚生部地域支えあい課職員より、広島市の短期集中型サービスの説明が、戸坂地域包括支援センター佐々木静香氏より、戸坂圏域の行き場紹介(いきいき百歳体操実施場所や認知症カフェ)が行われた。最後に

山下喜史東区医師会監事の挨拶により閉会した。本会東区支部からは白神葉子氏、高島宏氏、野村登志夫氏が参加した。



会議の様子

---

## 南区支部

---

### 2019 県立広島病院医局会主催ビアパーティー

日時：7月5日(金)午後7時30分

場所：ANA クラウンプラザホテル広島3階「オーキッド」

7月5日(金)に恒例の県立広島病院医局会ビアパーティーが開催された。

4月から新しく病院長に就任した平川勝洋院長の挨拶の後、佐藤貴広島市南区医師会副会長、熊谷宏本会会長の挨拶があり、乾杯となった。その後、毎年恒例の研修医の先生方の楽しい出しもので会場が盛り上がったところで今回の目玉である世界的マジシャンの内田貴光氏のマジ

ックが始まった。どのマジックも近くで見ても全く種が分からず驚かされるようなものばかりで1時間という時間があっという間に過ぎていった。

日ごろお世話になっている県病院の先生方と親交を深めるのに大変よい機会であった。



マジックをする内田貴光氏

# 各部からの報告

## 広報部

リンク切れはご容赦を。記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。  
最新記事はホームページにてご覧ください。

### 今月の知っておきたいこと

#### ▼迷惑行為や不払い、診療拒否の正当化事例を通知へ - 応召義務の新たな解釈、厚労省「今年秋にも」

Yahoo! ニュース (2019年7月19日)

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190718-21300000-cbn-soci>

厚生労働省は18日の社会保障審議会・医療部会で、現在の医療提供体制の在り方や医師の勤務環境などを踏まえた、医師の応召義務に関する新たな解釈を都道府県へ通知する方針を明らかにした。応召義務があっても診療をしないことが正当化される事例を、患者の病状の深刻度や迷惑行為、医療費の不払いなどのケースに応じて整理する。同省は、早ければ秋にも通知を出したい考えだ。

参考

厚生労働省 第67回社会保障審議会医療部会 (再掲)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000210433\\_00005.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000210433_00005.html)

資料 2-3 医療を取り巻く状況の変化等を踏まえた医師法の応召義務の解釈に関する研究について  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/000529089.pdf>

#### ▼ネットパトロールの審査対象、歯科は972件

日本歯科新聞 (2019年7月19日)

[http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2019/index.html#0709\\_08](http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2019/index.html#0709_08)

厚生労働省は6月27日、医療に関する広告規制や質の評価・公表などを議論する第13回「医療情報の提供内容等のあり方に関する検討会」を東京・四谷の主婦会館プラザエフで開いた。医療広告等の監視や規制の周知などを図るネットパトロール事業の平成30年度報告によると、審査対象事案の内訳で最も多いのは歯科の972件。次いで美容関係の368件、その他(眼科・内科・整形外科・産婦人科等)の277件と続いた。

### ニュースピックアップ

#### ▼医師と歯科医師 16人を行政処分

yomiDr 2019年6月28日

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190628-0YTE>

#### ▼「応召義務の報告書」に疑問が噴出し、紛糾するも解釈通知を发出へ —— 厚労省

中医協ニュース (2019年7月20日)

<http://chuikyo.news/20190718-ousyogimu/>

厚生労働省は7月18日の会議で、応召義務に関する研究班の報告書を示すとともに、これを全国に周知させるための通知を发出する意向を伝えたが、会議の出席者から「医師は誰に応召義務を負うのか」「どのような責任を負うのか」などの疑問が噴出した。

#### ▼事務負担を軽減、診療報酬改定でレセプトの合理化へ - 厚労省が中医協で提示

厚生労働省は、17日の中央社会保険医療協議会・総会で、医療機関での事務作業の負担を軽減するため、2020年度の診療報酬改定で診療報酬明細書(レセプト)の記載内容をさらに合理化することなどを提案した。これに対して強い反対意見は出なかった。中医協では、24日に予定されている次の総会で、「第1ラウンド」の取りまとめをする予定だ。

参考1

中医協ニュース 介護医療院への移行、「鈍い」と不満の声に「順調」と医療課長

<http://chuikyo.news/20190717-kaigoikou/>

2020年度の診療報酬改定に向け、医療と介護の連携をテーマにした7月17日の中医協総会では、療養病床から介護医療院への移行が議論になった。診療側は「なぜ進まないのか」と理由をただし、支払側は「出だしが鈍いんじゃないか」と不満を表したが、厚生労働省保険局医療課の森光敬子課長は「順調に伸びてきている」と評価した。

参考2

厚生労働省 中央社会保険医療協議会 総会 (第419回) 議事次第

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500\\_00033.htm](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00033.htm)

[T50010/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00033.htm)

厚生労働省は27日、犯罪などが明らかになった医師と歯科医師計16人の行政処分を発表した。

最も重い免許取り消しは1人で、強制わいせつ致傷罪で有罪判決が確定している。

◎いつも言われることですが、正しい保険請求をしなければなりません。また、過失によるご請求を防ぐためにも、療養担当規則をもう一度確認を。今回は汚職事件で収賄罪に問われ、有罪判決が確定した元大学院教授も含まれました。

## ▼歯と口の健康づくり推進 海老名市、ロッテなどと協定

東京新聞 2019年7月1日

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/list/201907/CK2019070102000128.html>

海老名市と市歯科医師会、菓子メーカー・ロッテの三者は、歯と口の健康づくりを推進する協定を結んだ。ロッテはそしゃく能力を判定するガムの提供や、口内機能の低下を防ぐ啓発などを通じて市民の健康維持に協力する。

◎神奈川県海老名市は55歳以上を対象にした「オーラルフレイル健診」の受診料助成を開始したそうです。事業に注目したロッテが健診を担う歯科医師会に協力を打診したようです。今後、オーラルフレイルはさらに注目されていきそうです。

## ▼小学生らの虫歯チェック 和歌山・橋本でコンクール

産経ニュース 2019年6月7日

<https://www.sankei.com/life/news/190607/lif190607009-n1.html>

和歌山県橋本市の市立高野口小学校で6日、市内や伊都郡の小学生らを対象に、医師が虫歯のチェックなどをする「よい歯を育てるコンクール」が実施された。伊都歯科医師会と伊都地方教育委員会連絡協議会が主催する毎年恒例のイベント。

◎このコンクールでは、「お口の中をのぞいてみよう」: CCDカメラを使用し、お口の中の様子を観察。「歯医者さんになってみよう」: 治療用患者模型や練習用治療用具を使い、歯医者さんの治療を体験。「よい歯博士検定」: 歯と口に関するクイズに答え、その知識を習得、などが行われました。様々に参考になりますね

## ▼困窮層の3割で子どもの受診控え 「自己負担金払えず」「忙しくて時間がない」 沖縄県小中学生調査

琉球新報 2019年6月15日

<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-936787.html>

沖縄県は14日、県内の子どもや家族の現状を把握し、社会や経済状況が与える影響を調べる2018年度県小中学生調査の報告書を公表した。過去1年間に子どもを病院や歯医者を受診させられなかったと回答した割合は対象の全学年で前回調査より増え、困窮世帯では約3割に上った。

◎過去一年間に子どもを病院や歯医者を受診させられなかったと回答した割合は過去の調査より増加し、特に貧困世帯で顕著であったようです。医療機関での自己負担金が払えないことが主な原因のようです。日本の将来

を担う子どもたちの、金銭的な理由での受診控えは解消されるべきだと思います。

## ▼「無給医」、50大学病院に計2191人

yomiDr 2019年6月28日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190628-0YTE T50013/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190628-0YTE T50013/?catname=news-kaisetsu_news)

全国の大学病院で診療を行う医師、歯科医師（教授から助教の教員除く）のうち、7%の2191人は勤務実態があるのに給与が支払われていない「無給医」と確認されたことが28日、文部科学省の調査でわかった。

◎医師免許を持つ大学院生や専門医を目指す専攻医らが大半で、「自己研さんにあたる」などとされていたそうです。勉強のためとはいえ、実際に人を助ける医療行為を診療指針にのっとって行っているのにタダ働きとってはいけないと思います。

## ▼肥満でなくとも糖尿病に… 肝臓、筋肉の脂肪が影響

産経ニュース 2019年6月1日

<https://www.sankei.com/life/news/190531/lif190531022-n2.html>

生活習慣病である2型糖尿病は「太った人の病気」とのイメージが強いが、それは間違いらしい。日本を含むアジア人では、痩せた人でも欧米人より発症リスクが高いことが各国の研究で分かってきた。体重や体格だけでは分からないリスクと、取るべき予防策について専門家に聞いた。

◎1型糖尿病は、インスリンを分泌する細胞が破壊され、インスリン分泌不足になり、血糖が上昇することにより発症します。一方、2型糖尿病は、肥満をはじめとした生活習慣、加齢などが原因で、現在の糖尿病患者数の約9割を占めています。2型糖尿病では、肥満でなくても、生活習慣や運動不足で数値が悪化します。日頃の運動習慣がとても大事ですね。

## ▼オプジーボ、結核の副作用 厚労省が注意喚起指示

産経ニュース 2019年6月4日

<https://www.sankei.com/life/news/190604/lif190604017-n1.html>

厚生労働省は4日、免疫の働きを利用したがん治療薬「オプジーボ」と「キイトルーダ」を使用すると結核の発症率が高まる恐れがあるとして、製造元の小野薬品工業（大阪）とMSD（東京）に、薬の添付文書の重大な副作用として結核を追記するよう指示した。オプジーボでは、使用との因果関係が否定できない結核関連症例が6例報告された。死亡例はない。

◎オプジーボは、免疫系に作用する薬なので、予期せぬ副作用が現れることはありうるかと思います。重要なことは、発現した副作用を重篤化させないことだと思います。副作用報告されたことによって、発現の減少だけでなく重篤化を防ぐことにもつながります。今後も更なる副作用に対する研究が必須ですね。

## ▼「生活苦しい」57% 平均所得4年ぶり減少 厚生労働省調査

NHK NEWS WEB 2019年7月2日

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190702/k10011979331000.html?utm\\_int=nsearch\\_contents\\_search-items\\_003](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190702/k10011979331000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_003)

1世帯当たりの平均所得は、おとし、551万円余りと4年ぶりに前の年を下回り、生活が苦しいと感じている世帯は、全体の57%に上ったことが厚生労働省の調査で分かりました。厚生労働省は毎年、一部の世帯を抽出して所得の状況を調べる「国民生活基礎調査」を行っていて、去年7月、全国6000世帯余りから回答を得ました。

◎厚生労働省は、一世帯当たりの所得の減少した要因の一つに、比較的所得の低い高齢者世帯の増加を挙げています。年金だけで生活するのはかなり苦しいようです。我々に明るい老後は待っているのでしょうか。

## ▼禁煙治療にスマホアプリが処方される時代到来？

メディカルトリビューン (2019年06月25日)

<https://kenko100.jp/articles/190625004874/#gsc.tab=0>

来年(2020年)の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、受動喫煙対策強化、相次ぐたばこの値上げなど、喫煙者を取り巻く状況は厳しさを増している。あなたが喫煙者なら、「この機会に禁煙しようかな」と考えたことが一度や二度ではないはず。

◎標準禁煙治療プログラムとの併用効果が検討されているようで、禁煙補助薬に匹敵する効果が認められたとのこと。辛くてなかなか達成しづらい「禁煙」に薬に頼らない強い味方となってくればよいですね。

## ▼飲み物にとろみ!? 高齢者の誤えん性肺炎 防止 自販機お目見え

NHK NEWS WEB 2019年7月4日

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190704/k10011981891000.html?utm\\_int=nsearch\\_contents\\_search-items\\_008](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190704/k10011981891000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_008)

飲み込む力が衰えた高齢者が飲料水を飲んだ時に起きる事故を減らそうと、飲み物に“とろみ”をつけることができる自動販売機が、青森市の観光施設に設置され、試飲会が開かれました。これは、カップ式自動販売機の運営会社と、医

療機関向けの食品を製造・販売しているメーカーが、共同で開発しました。

◎高齢者の増加によって嚥下機能等の低下による誤嚥性肺炎に注目が集まっています。飲み物にとろみをつけることによって誤嚥を減らすことができますが、かかりつけ歯科医による口腔ケアにより、口腔内細菌の数を減らすこともまた、重要かと思われます。

## ▼特産ミカンに肥満抑制効果 茨城大が発表

産経ニュース 2019年6月18日

<https://www.sankei.com/life/news/190618/lif190618032-n1.html>

茨城大などの研究グループは、茨城県の筑波山麓で栽培されている「福来(ふくれ)みかん」の果皮を食べることで、肥満抑制などの効果が期待できるという実験結果を発表した。地元の同県つくば市では近年、福来みかんの皮を食材に用いたご当地ラーメンなどの考案も進んでおり、効果の確認でさらに注目を集めそうだ。

◎過去には、福来みかんの健康等に関する効果検証は行われておらず、「皮を食べる習慣が機能性を生かすことにつながるのではないか。茨城の特産品として脚光を浴びればうれしい」と地元の方々には話しているそうです。どんなものか、食べてみたいですね。

## ▼高齢者専用の運転免許創設 安全機能付き車に限定

日本経済新聞 2019年6月10日

[https://www.nikkei.com/article/DGXMZ045897580Q9A610C1MM8000/?n\\_cid=MELMG011](https://www.nikkei.com/article/DGXMZ045897580Q9A610C1MM8000/?n_cid=MELMG011)

政府は高齢ドライバー専用の新しい運転免許をつくる方針だ。75歳以上を想定し、自動ブレーキなど安全機能がついた車種のみ運転できるようにする。高齢者の交通事故の多発が深刻な社会問題になっており、対策を急ぐ。ただ新免許は取得の義務付けを見送り、選択制を軸に検討する方針だ。新免許を浸透させ、事故の抑制で効果をあげるには課題も多い。

◎なるほど「アシスト機能が付いた自動車なら」ということですね。なぜか昨今は高齢者ドライバーによる事故の報告が急に増加しているような気がしてなりません。高齢者は以前から運転しているのになぜ急に事故が増えているのか、原因を探ることも必要ではないでしょうか。





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート  
「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

**8月7日放送分**

「歯科医師会組織の役割について」

広島市歯科医師会 熊谷宏会長

広島市歯科医師会は1918年に「広島県歯科医師会広島支部会」として発足し、昨年創立100周年を迎えました。そもそも歯科医師会という組織は誰のためにあるのでしょうか。広島市歯科医師会会長の熊谷宏さんが、設立の目的や概略についてお話しします。

**8月21日放送分**

「広島市歯科医師会の活動について」

広島市歯科医師会 瓜生賢副会長

学校歯科健診、1歳6ヶ月健診、3歳児健診、妊婦健診、節目年齢健診、在宅訪問歯科健診をご存じですか。広島市歯科医師会が市民の皆さまの健康増進の一助となるべく行っている活動について、同会副会長の瓜生賢さんが紹介します。

**7月定例理事会報告**

「部外報告」

- 6月27日 広島原爆障害対策協議会評議員会
- 7月1日 広島赤十字・原爆病院地域医療支援病院運営委員会
- 7月3日 第2回四者協議会
- 7月4日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 7月5日 県立広島病院医局会ビアパーティー
- 7月6日 全国歯科大学同窓会広島県支部長会併設文月会
- 7月7日 中国四国厚生局集団指導
- 7月11日 (県)広島県歯科審査連絡協議会
- " (県)会員面談
- 7月12日 平成31年度広島市学校保健会第2回理事会及び表彰審査委員会
- 7月13日 (県)郡市地区会長専務合同会議
- " (県)令和元年度第1回各部等総合委員会
- 7月16日 (県)会員面談
- 7月18日 広島市要保護児童対策地域協議会
- " 国保連合会歯科再審査部会
- 7月19-23日 国保連合会歯科審査部会
- 7月19-25日 社会保険診療報酬支払基金審査(合議25日)
- 7月20日 広島大学大学院統合生命科学研究科・大学院医系科学研究科設置記念式典・祝賀会
- " 十三大市歯科医師会役員連絡協議会専務理事会議(横浜)
- 7月21日 審士会
- 7月22日 広島市役所との協議

「連盟関係」

- 7月4日 参議院議員選挙 みぞて顕正候補出陣式
- 7月11日 自民党加藤勝信総務会長・新谷正義 衆議院議員来館面談
- 7月12日 異業種交流会
- 7月14日 自民党街頭政談演説会
- 7月19日 連盟員あて参議院議員選挙協力依頼FAX
- 7月21日 参議院議員選挙投開票日

「総務関係」

- 6月29日 臨時理事会
- " 第112回定時総会
- 7月1日 事務局訓示
- 7月8日 FMちゅーピー収録
- 7月9日 広島市歯科医師会各部総合委員会
- 7月10日 法務局代表者変更手続書類提出
- 7月11日 社会保険労務士との打合せ
- 7月18日 事務局員面談
- " 執行部事務局懇親会
- 7月19日 法務局代表者変更手続書類一部訂正
- 7月20日 中区支部夏季懇親会
- 7月22日 三役会
- 7月24日 定例理事会

「慶弔関係」

- 7月19日 南区支部 山崎達夫先生ご母堂様ご逝去

「入会退会関係」

- 6月27日 南区支部 千田禎先生入会
- 7月1日 中区支部 山崎義之先生 東区支部に移籍



7月12日 入会後面談(千田禎先生)

**(県歯理学会関係)**

7月4日 県歯理学会

**(1) 総務部(森本理事)**

6月29日 第112回定時総会  
7月2日 休日診療レセプト点検  
7月6日 新入会員サポート事業  
7月9日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月11日 (県)保険部常任委員会  
7月12日 入会後面談(千田禎先生)  
7月13日 (県)令和元年度第1回各部等総合委員会  
7月17日 新規指導面談  
7月18日 執行部事務局懇親会  
7月19日 定例委員会

**(2) 学術部(花岡理事)**

6月10日 広島市連合地对協災害時医療救護検討委員会  
6月29日 第112回定時総会  
7月9日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月13日 (県)令和元年度第1回各部等総合委員会  
7月18日 執行部事務局懇親会

**(3) 厚生部(谷理事)**

6月29日 第112回定時総会  
7月9日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月14日 自民党街頭政談演説会  
7月16日 厚生部委員会  
7月18日 執行部事務局懇親会  
7月21日 参議院議員選挙投票日

**(4) 地域歯科保健部**

6月29日 臨時理事会  
" 第112回定時総会  
7月9日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月10日 (県)地域保健部、学校保健部常任委員会  
7月13日 (県)令和元年度第1回各部等総合委員会  
7月19日 定例委員会

**<学校保健>(有馬理事)**

7月3日 第2回四者協議会  
7月5日 (南区地对協)令和元年度第1回広島市南区在宅医療・介護連携推進委員会  
7月12日 平成31年度広島市学校保健会第2回理事会及び表彰審査委員会  
7月18日 広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議  
" (県)第1回保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議

**<地域保健>(若林理事)**

7月2日 (県)平成30年度節目歯科健診のデータ集計と健診対象者への受診啓発資料作成事業第1回委員会  
7月16日 (県)労働安全衛生法に基づく歯科特殊健康診断の研修事業第1回委員会  
7月18日 執行部事務局懇親会

**<地域連携>(藤田理事)**

7月2日 (県)歯科医師等認知症対応力向上研修会第1回準備委員会

7月12日 中広包括支援センター主催介護予防拠点講演

7月23日 中広圏域多職種連携会議

**(5) 広報部(水内理事)**

6月29日 第112回定時総会  
7月1日 校正委員会  
7月4日 はつらつ家族表彰(安芸歯会)  
7月8日 FMちゅーピー収録  
7月9日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月13日 (県)令和元年度第1回各部等総合委員会  
7月16日 情報調査委員会  
7月18日 執行部事務局懇親会

**FMちゅーピー(新聞掲載)**

8月7日「歯科医師会組織の役割について」  
広島市歯科医師会会長  
熊谷 宏氏

8月21日「広島市歯科医師会の活動について」  
広島市歯科医師会副会長  
瓜生 賢氏

**(6) 広島市歯科医師会ホームページについて**

ホームページアクセス数  
一般サイト 訪問者 2,446 (累計 132,860)  
ページビュー 11,316 (累計 432,420)  
会員サイト 訪問者 185 (累計 27,707)  
ページビュー 609 (累計 211,404)  
広報部… Talking Heads<最新情報>  
掲載件数 37件(6/21~7/20)

**(7) 特別委員会**

**(8) 救急蘇生委員会**

**(9) 歯科医療安全相談**

7月2日 相談 インプラントについて(50歳代男性)  
7月13日 相談 ブリッジについて(40歳代女性)

**「協議事項」**

**(1) 会費について(6名)**

終身会員資格取得による会費額変更について4名承認。診療形態の変更による会費額変更について2名承認

**(2) 入会について(2名)**

2名継続審議中。

**(3) 保険講習会について**

内容について確認・協議

**(4) 学術講演会について**

内容について確認・協議

**(5) 幟町小学校学校歯科医選任について**

内容について確認・協議・議決

**(6) 広島市歯科医師等認知症対応力向上研修会(仮)について**

内容について確認・協議

**(7) 喀痰吸引研修会(仮)について**

内容について確認・協議

- (8) 不登校児の歯科健康診断未受診への対応について  
内容について確認・協議
- (9) FM ちゅーピー(収録予定について)  
内容について確認・協議
- (10) 広島市歯科医師会会員名簿について  
内容について確認・協議
- (11) 原爆死没者慰霊祭について  
内容について確認・協議

- (12) 広島東洋カープ観戦の集いについて  
内容について確認
- (13) その他

「その他」  
特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: [hiroshima@dentalpark.net](mailto:hiroshima@dentalpark.net)

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: [mizuuchi.shika@gmail.com](mailto:mizuuchi.shika@gmail.com)

広島市歯科医師会ホームページ <http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

